

# NEXT ネクスト

2008(平成20)年2月21日鑑賞<GAGA 試写室>

★★★



監督＝リー・タマホリ／原作＝フィリップ・K・ディック『ゴールデン・マン』（ハヤカワ文庫刊）／出演＝ニコラス・ケイジ／ジュリアン・ムーア／ジェシカ・ビール（ギャガ・コミュニケーションズ配給／2007年アメリカ映画／95分）

……もし、あなたに「2分先の予知能力」があったら……？ その活用法は難しいが、世界は大きく変わるはず。他方、FBIはテロリストによる爆破計画をキャッチ。その核兵器の場所は……？ こんなアイデアから生まれた奇想天外な企画に、ニコラス・ケイジがいかに挑戦……？

『ジャンパー』（08年）を観て、「映画はアイデアと脚本が勝負！」と書いたが、それはこの映画も同じ。『NEXT ネクスト』のアイデアは、もし人間に未来の予知能力があったら、ということ。

主人公クリス（ニコラス・ケイジ）はそんな特殊能力を持つ男として登場だ。もっとも、それには2つの条件があった。第1は、わずか2分先の予知能力。第2は、予知できるのは自分に関わる未来のみということだ。もしあなたにこんな能力があれば、あなたはどんな生き方を……？

何よりも大切なことは、「能ある鷹は爪を隠す」の諺どおり、そんな特殊能力を隠すこと。なぜなら、そんな才能が公になれば……？

クリスの毎日は、みすばらしいラスベガスのクラブでのマジック・ショー。そしてカジノで小さく勝つこと。それが彼の保身術だったが、そんなクリスの能力に目をつけたのが、FBI女性捜査官のカリー（ジュリアン・ムーア）。核兵器をもつテロリストがロサンゼルスを爆破しようと企てているとの情報を得たFBIは、その陰謀を阻止するため、クリスの特殊能力の活用が不可欠だとしてその協力を要請（強要？）したのだった。もちろんクリスは、自分に関することしか予知能力はないと協力を拒否したが、カリーの追及は執拗。さて、その攻防戦は……？

これがこの映画の1つのストーリーの軸。クリスとカリーは最終的にテロリストた



© 2007 REVOLUTION STUDIOS DISTRIBUTION COMPANY, LLC  
ALL RIGHTS RESERVED.

ちの策動を阻止することができるのだろうか……？

もう1つのストーリーの軸は、ダイナーで見かけた時から一目ボレしてしまった女性リズ（ジェシカ・ビール）とクリスとの恋愛模様。2分先を見通すことができる能力を駆使すれば、どんなアプローチでも可能（？）だが、そんなことをすればその口説きは半分騙し……？ そんな微妙な駆け引きを含む展開は面白いが、大雨→道路の閉鎖→モーテル宿泊という天の助けもあって、2人は結ばれることに。

しかしそれは同時に、リズがクリスと共にFBIとテロリストとの抗争に巻き込まれることを意味していた。

今や、愛するリズはテロリストの手に。そして、核兵器は既にロサンゼルスに持ち込まれている模様。さあ、その場所の特定は……？ クリスの予知能力は、ロスをそして合衆国を救うことができるのだろうか……？

「わずか2分先の予知能力」というアイデアはたしかに面白いが、映画前半はその能力活用の説明に費やされている感が……。また、難しいのは「2分先の未来」といっても、それを見通した瞬間別の行動をとれば、その未来はすぐになってしまうこと。たとえば、車の中で2分先の対向車との正面衝突を予知すれば、自分の車を止めればいいわけだが、そうすると、そこからまた別の未来が始まるからややこしい……？ したがって、こんな映画はよほどあなたの頭をスッキリさせた状態で観なければ……。

2008(平成20)年2月22日記